

令和３年１１月 定例教育委員会

日 時 令和３年１１月１９日（金）９時３０分～

場 所 市役所１１階会議室１

出席者

（教育委員）

西本教育長 内海教育長職務代理者 萩原委員 古賀委員 松野委員

（事務局）

山元教育総務部長兼新しい学校推進室長 杉本社会教育課長 山口文化財課長 嶋田スポーツ振興課長 副島総務課長補佐 陣内学校教育部長 高島学校教育部次長兼学校教育課長 高橋教育センター長

欠席者 なし

傍聴者 なし

内 容

(1) 教育長報告

(2) 令和３年９月分 議事録確認

(3) 議 題

- ① 社会教育委員の委嘱の件
- ② 佐世保市文化財展示施設条例の一部改正の件

(4) 協議事項

- ① 「江迎小学校、猪調小学校、江迎中学校」、「金比良小学校、光海中学校」及び「木風小学校」のコミュニティ・スクール導入について

(5) 報告事項

- ① 令和４年成人式典について
- ② 小柳賞佐世保シティオンラインロードレース２０２２について
- ③ 「Google for Educationパートナー自治体」への参画について
- ④ 令和３年度佐世保市教育センター第３回教育フォーラムの開催について

(6) その他

- ① 次回開催予定について

◆ 教育長報告

- １０月２０日 定例教育委員会
- １０月２１日 通学区域審議会
- １０月２１日 佐世保市「歯・口腔の健康づくり推進協議会」
- １０月２２日 図書寄付金寄贈式
- １０月２２日 中里中学校ＩＣＴ中間発表

○ 10月25日	江上地区市政懇談会
○ 10月26日	文教厚生委員会協議会
○ 10月30日	青少年育成懇談会
○ 11月 1日	中学校定例校長研修会
○ 11月 1日	小学校定例校長研修会
○ 11月 1日	大野地区市政懇談会
○ 11月 4日	宇久地区市政懇談会
○ 11月 5日	第3回長崎県都市教育長協議会
○ 11月 8日	吉井中学校トイレ清掃体験事業
○ 11月 9日	佐世保法人会50周年記念式典及び祝賀会
○ 11月10日	山手・小佐世保通学路視察
○ 11月10日	前期教育委員会
○ 11月10日	文教厚生委員会協議会
○ 11月10日	奨学金寄附金贈呈式
○ 11月11日	市永年勤続教育功労者表彰式
○ 11月12日	大塔小学校研究発表会
○ 11月13日	調べる学習コンクール
○ 11月13日	ヴェルカオープニングイベント
○ 11月15日	中学校定例副校長・教頭研修会
○ 11月15日	佐世保市青少年問題協議会
○ 11月16日	小学校定例副校長・教頭研修会
○ 11月17日	市町村教育委員会から県への要望
○ 11月18日	佐世保市図書館協議会

【西本教育長】

11月の定例教育委員会を始めたいと思います。

本日は議題2件、協議事項1件、報告事項4件となっております。

まずは議題の1、社会教育委員の委嘱の件について早速ですが事務局から説明をお願いします。社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

1ページをお願いいたします。

現在の社会教育委員の任期は、令和3年12月9日で満了となりますことから、新たに委員を選任することについてご提案するものです。

資料2ページをお願いいたします。

左側が現在の委員名簿となります。

現在の任期は、令和元年12月10日からでございますが、ご覧いただいておりますのとおり、中ほどの社会教育の関係者の岩崎委員、その二つ下の家庭教育の関係者の浦川委員、学識経験者の中野委員は、任期の初めから就任されていますが、そのほかの委員の皆さんは、推薦団体の組織変更等により任期途中からのご就任となっております。このことから、事務局としましては、基本的には現在の委員の皆様にご就任いただければという方針で進めてまいりました。

右側の改選案をご覧ください。

先ほどの方針に基づきまして、今回改めて推薦団体に推薦依頼を行いましたところ、網かけとなっております社会教育関係者枠の地区自治協議会からの委員について、新たな委員候補者としまして、前委員の近藤委員に替わりまして、九十九地区自治協議会会長の大谷政輝委員を候補者としております。

また、下から３段目、家庭教育関係者の１枠につきましては、現在調整中でございますことから、新たな候補者が固まり次第、改めてご提案させていただきたいと思っております。

そのほかの委員の皆様は、引き続きご就任いただく予定としております。

任期は、本年１２月１０日から令和５年１２月９日までとなります。

説明は以上でございます。

【西本教育長】

ただいま説明がありましたが、今回、今のところ大谷政輝委員だけが、近藤前委員に替わりということで皆様にお諮りをさせていただきたいと思っております。下から３番目の人はまだ調整中でございますので、調整が調ったときに改めてお諮りしたいと思っております。

この大谷政輝委員の就任につきまして、特にご質疑等ございませんでしょうか。ありませんね。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

そしたら、大谷政輝委員の就任ということでよろしゅうございますでしょうか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

ありがとうございます。

次です。佐世保市文化財展示施設条例の一部改正の件です。事務局から説明をお願いいたします。

文化財課長。

【山口文化財課長】

ページは事前配付資料の１ページとなりまして、議題２と右肩に書いております。

佐世保市文化財展示施設条例の一部改正の件でございますが、提案理由といたしまして、佐世保市世知原炭鉱資料館の名称を改めるとともに、小佐々地区公共施設の再編に

伴い、佐世保市小佐々郷土館を廃止するためにご提案するものとなっております。

詳しくは3ページからご説明をしたいと思います。3ページ目をお開きください。

1番目の主旨は先ほど申し上げましたので、2番目の一部改正の理由からお話をさせていただきます。

1番目に、小佐々地区公共施設の再編ということでございまして、現在佐世保市のほうが公共施設適正配置・保全実施計画（第1期）に基づきまして、小佐々支所の庁舎を改修しまして、庁舎の中に、今申し上げました小佐々郷土館、またコミュニティ・協働推進課が所管しますコミュニティセンターと伝習館を集約するというふうに今進めております。3年度中に改修を行いまして、移転を行って、4年度のどこかの時点で新施設の供用開始を行いたいということで今予定しているところでございます。

小佐々のほうになるんですが、小佐々郷土館につきましては現在、考古資料に加えまして、民俗、昔の暮らし、また、現在に至るまき網漁業、養殖業などの資料を展示している施設になっておりまして、これらの過去から現代に至る通史展示に部分について、新しい庁舎の1階部分のエントランスホールの奥に文化財展示コーナーとして整備を図るということにしておりますことから、文化財展示施設としての小佐々郷土館は廃止するというものでございます。

少し資料は飛びますけども、10ページをお開きいただきたいと思います。10ページに平面図を載せております。

こちらが1階の平面図になりまして、上のほうが改修前、下のほうが改修後ということになります。真ん中に入り口がございまして、その左側のほうに、文化財展示コーナーということで設ける予定でございます。73平米ということになります。

あと、2階のほうが11ページにございまして、こちらのほうは展示ではなくて、下のほうが改修後でございますが、展示物の収蔵庫ということで、96平米貸していただくことになっております。

すいませんが、3ページのほうにお戻りいただきますでしょうか。

以上が小佐々郷土館でございまして、(2)世知原炭鉱資料館の名称に対する地域からの指摘への対応でございます。

6月の文教厚生委員会研究会におきまして、委員長から、世知原地区の炭鉱につきましては、飯野炭鉱株式会社を中心に栄えていたけれども、世知原炭鉱という炭鉱も別がありましたと。そういうことから、世知原炭鉱資料館という名前は、世知原炭鉱の資料館と誤解を招くのではないかということが住民から指摘があっているという発言がございましたので、どのような資料館であるのかを来館者に正しく伝えるという目的から、今回、施設名称を「世知原地区炭鉱資料館」へと改めたいと考えております。

資料は特にございませんが、世知原炭鉱資料館につきましては、もともと、この2行目に「松浦炭坑」と書いてありますけれども、松浦炭坑の事務所として使われておりましたものを世知原町のほうが、炭鉱が閉山した後、所有されまして、民俗資料館として使われております。それを合併した後も我々のほうで、今度は名称を炭鉱資料館に変えて活用していたという状況でございます。

条例につきまして、次の４ページになりますが、先ほど申しあげました改正の内容を反映するというので、小佐々郷土館については廃止で削除、世知原炭鉱資料館については「世知原地区炭鉱資料館」に名称変更ということでお願いしております。

施行期日は、来年の４月１日ということでございます。

新旧対照表が次の５ページからございます。真ん中に一部改正案ということで、小佐々郷土館は削除ということになっております。真ん中のほうに「世知原地区炭鉱資料館」ということで名称を改めるというものでございます。

６ページは、附則で施行期日等を書いております。

説明は以上でございます。

【西本教育長】

ありがとうございました。

ただいまの説明につきまして、委員の皆様からご質疑等ございますでしょうか。

世知原の炭鉱資料館には、どのくらい人が入ってたんですか。

【山口文化財課長】

人数ですか。資料を添付しておりまして、８ページになります。世知原炭鉱資料館の平成２８年度から載せておりますが、最近はコロナでかなり減少が著しくて、令和２年度では６６３名というような状況になっております。

小佐々郷土館は、さらにもっと少なく１７７人というような状況でございます。

【西本教育長】

ほかにございませんでしょうか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

よろしいでしょうか。

【全委員】

はい。

【西本教育長】

それでは、条例改正議案として提出をするということでございます。

ありがとうございました。

それでは（４）の協議事項です。

①として、「江迎小学校、猪調小学校、江迎中学校」、「金比良小学校、光海中学校」及

び「木風小学校」のコミュニティ・スクール導入についてということでございます。説明をお願いいたします。

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

協議事項①「江迎小学校、猪調小学校、江迎中学校」、「金比良小学校、光海中学校」及び「木風小学校」のコミュニティ・スクールの導入について説明いたします。

配付資料は、お手元の協議事項をご覧ください。

資料１ページをお開きください。

本日のご協議につきましては、ただいま申し上げました３地区６校におきまして、令和４年４月１日から学校運営協議会及び地域学校協働本部を設置し、現在コミュニティ・スクールに向けた取組をしておりますので、導入についてその進捗状況を報告し、設置に向けて進めてよいか伺うものでございます。

項目１でございます。学校運営協議会設置要望書及び地域学校協働本部設置希望提出校をご覧ください。

本市では現在、小佐々地区３校にコミュニティ・スクールを指定しておりますが、このたび令和３年９月に、四角囲みにございます３地区６校から学校運営協議会の設置要望書が提出されました。

３ページ以降の資料が、３地区から提出された関係文書でございます。ちょっと量が多いので、まず概略で説明します。内容は、設置要望書、協議会委員推薦書、関係チラシでございます。

ページ番号でご案内いたします。最初の３ページから７ページまでが、江迎地区でございます。同じ要領で、８ページから１０ページまでが、金比良小、光海中地区でございます。そして、１１ページから１４ページまでが、木風小地区でございます。

これとは別に、今度は地区から出されています地域学校協働本部の希望書、１５ページ、１６ページ、１７ページ、全て３地区からの地域学校協働本部の設置希望書という構成になっております。

資料１ページにお戻りください。

項目２、導入理由をご覧ください。平成２９年４月に本市初のコミュニティ・スクールが、小佐々地区３校、海光る町学園として設置をされました。当学園では協議会員が積極的に学校運営に参画していただき、地域学校協働本部においても、地域コーディネーターを中心に、学校を支える人材発掘、地域と連携した教育活動の充実が図られており、導入の効果は顕著に見られているところでございます。

この成果を市内他地域にも広げるために、令和２年１２月の定例教育委員会におきまして、令和５年度までに１５校程度に拡充する方針について議決をいただいたところでございます。その一つとして、今回、希望企画書が提出されているところでございます。

項目３、学校運営協議会及び地域学校協働本部の設置希望日、形態について、をご覧ください。

本来、学校運営協議会は、1 学校単位の設置を原則といたしておりますが、地教行法の改正、本市学校運営協議会の規則第 3 条により、複数校での設置も可能となっております。今回の要望書では、江迎地区 3 校は小中連携で密接につながりたい、地域の特色を生かしたい。金比良小、光海地区では、小中一貫教育をさらに充実させたい。それぞれ複数学校で一つの学校運営協議会や地域学校協働本部の設置を希望されております。一番下の木風小は、原則にある 1 校につき一つの形態を希望されております。

資料 2 ページをご覧ください。一つ飛びまして 5 番でございます。各学校（地域）におけるこれまでの取組表でございます。

三つの地区では、表に示しておりますとおりコミュニティ・スクール設置の準備に向けて現在も協議が進められており、地区自治協議会や学校支援会議と連携した取組が行われているところでございます。本日も江迎地区で、1 段目の一番下、11 月、第 5 準備委員会が開催され、事務局職員もオブザーバーで参加をいたします。

資料飛びまして、18 ページをご覧ください。佐世保市学校運営協議会規則でございます。

第 3 条、設置のところをご覧ください。教育委員会は、この協議会の設置について努力事項をうたっております。これまでのコミュニティ・スクールの成果を広める観点でも、所管事務局であります学校教育課及び社会教育課といたしましては、要望書をご提出いただきました当該 3 地区 6 校につきまして、令和 2 年度の学校運営協議会及び地域学校協働本部を設置いたしまして、コミュニティ・スクールを導入したいと考えているところでございます。本日のご協議、よろしくお願いいたします。

なお、後日、別の定例教育委員会にて議案として提出をさせていただく旨、申し添えます。

以上で説明を終わります。

【西本教育長】

ただいま説明がありましたけれども、委員の皆様から何かご質問ございますでしょうか。

内海委員。

【内海教育長職務代理者】

今まで、どちらかというとコミュニティ・スクールは小中学校連携でやってきたことで、木風小学校だけが単独校での設置というのは、どうして単独校なのかなという。今まで小中一貫校だったのが、その流れからすると、どういう経緯でしょうかね。

【西本教育長】

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

14ページをご覧ください。14ページは木風小学校の計画書の中の資料でございます。

木風小学校は、もちろんその地区として山澄中学校区でございますので、それと連携した方法もこちらとしては提案しておりますが、一応希望といたしましては、木風小学校学校支援会議を学校運営協議会に移行する形で、地域と連携した形で取り組んでいきたいというふうなご意向がございます。

ただ、地区自治協議会等がまだメンバーとしては入っておらず、まだここら辺の協議を詰めて、中身を精査していく必要があるかと事務局としては考えております。

【西本教育長】

そもそもコミュニティ・スクールは1校1学校運営協議会が大体原則で、近隣の、あるいは小中一貫校とかそういったところでは、2以上の学校で一つのコミュニティ・スクールをつくることができますと。どちらかという小佐々のほうが例外のような感じだったと思います。今回、特に金比良とか隣同士だから問題ないでしょうけど。江迎の地区、江迎中学校が少し、一つの学校運営協議会になるというのが、どちらかというによくうまくやっていかないと、地域が離れているのでという感じがします。

松野委員。

【松野委員】

まず一つ思うのが、世知原小学校から当初設置希望が出ていたようですけども、世知原小が引かれたというのはどんな感じでしょうかね。

【西本教育長】

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

その精査がまだ終わってませんので、次回回答させていただきます。すみません。

【松野委員】

分かりました。

あわせまして、木風小学校も、先ほど内海委員さんからもありましたけれども単独でということ。これまで小佐々地区が一生懸命、上手に二つの小学校と一つの中学校が一つになってつくり上げていこうということで、非常によくできたパターンだったんじゃないかなと思って見ていたんですけども、それを持っている中で、当然1校でというのが原則でしょうけども、コミュニティを形成する母体としては、やっぱり小佐々とか、あるいは江迎とか、こちらの金比良小を見ると、地域の自治協議会とのきちんとしたまとまりの中でやっていっている状況が見えておりますので、やっぱりこの単独でやるというのは難しくないのかなというのが1点。

また、これは別のこともあると思うんですけど、新しい学校推進の地区での説明会がありましたよね。そのときにどんな反応があったのかということ、ちょっと私もその辺があったものですから、それをちょっとお聞きしたいなと思っています。

【西本教育長】

教育総務部長。

【山元教育総務部長兼新しい学校推進室長】

先に学校再編の説明会のお話をさせていただきます。

木風小学校は、山澄地区自治協と南地区自治協が交ざっているような地域でございます。そこでいろいろご意見はいただいております。

南地区自治協議会としては、自治協区域と学校区を合わせられないかという方向でおっしゃっています。木風小学校で説明したときは、南地区自治協の方が来られて、お困り感というか、子供会のお世話とかそういった実情を話されたような状況です。それに対して今どう対応しようという案をまだ考えているわけではないんですけど、今意見を聞いているという状況です。それと山澄地区自治協議会は、その辺何とか上手にできないかということでお話もいただいておりますので、両自治協との調整が、もし今後できるようであればその辺も話はしたいなと思ってますが、今、現時点でちょっと両方のご意見をいただいているという状況でとどまっております。

以上でございます。

【西本教育長】

学校教育部長。

【陣内学校教育部長】

そもそもコミュニティ・スクール、地域学校運営協議会という制度ができたのが15年以上前でございました。そのときに学校教育法の法改正がされて、こういった制度が使えますよというフレームがつくられて、そのときには、おっしゃるとおり1校に1協議会ということでスタートしていきました。

その頃、学校の教育活動については、「地域に開かれた学校づくり」という言葉がキャッチフレーズで、学校の教育活動に、地域の人にもいっぱいお知らせしていこう、地域の人に来ていただこう、その起爆剤として、一つの学校に一つずつそういった組織をつくっていきましょうという流れでございました。

それから十数年たって、文科省のキャッチフレーズ自体が大きく変わって「地域に開かれた」から「地域とともにある学校」と。もっと大きくなりますね。一番端的に僕は考えれば、手段から目的に変わったと思っています。学校教育を充実させる手段が地域だ、地域を充実させる手段が学校だというツールとして考えられておったのが、既に目的に変わった。学校づくりは地域づくりなんだ、地域づくりは学校づくりなんだ、

目的は共通しましょうというふうに、質的に大きく変わったと思っています。

この流れの中で、そうなれば、同じ地域の中に小学校も中学校もありますので、地域をユニットとして見た場合、やっぱり小学校、中学校に1校ずつと縛る必要はないだろうということで、たしか平成29年の法改正のときに、一貫型学校、今の小佐々方式というものを国が認可を始めた。

そういった中で佐世保市はスタートから小佐々を取り入れましたので、今の流れに沿った、地域づくりは学校づくりだという方針に対して、大変全国的にも先進的なノウハウを持っているのが佐世保市だろうと思っています。そのようなことから今回も、金比良小、光海中も地域と一緒に手を挙げられましたし、江迎のほうも3校一緒に手を挙げられたという状況です。

その中で、木風については、3小1中なんですけど、地域でするため、地域でするにはまだ準備が整っていない。だから、発展的には、最終的にはそのような形も模索しながら、まずは木風小学校にある今の支援委員会をコミュニティ・スクールに一つブラッシュアップして準備を始めるといような形ではないかなと伺っています。

ですから、地域の方に伺ってみれば、4校で1協議会の設置に向けた調整とか相談もなされていると聞いていますので、今後はそのような形で発展していくんじゃないかなと思っています。まずは1校で取りあえずつくってみようということではないかなと思っています。

【西本教育長】

よろしゅうございますか。

古賀委員。

【古賀委員】

白南風小学校と統合する可能性もあると思うんですけど、木風小は今、1クラスですかね、全学年。

【西本教育長】

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

基本、1クラスずつでございます。

【古賀委員】

そうですね。何か統合するかもという感じにもなっているんですけど、そのときにそのコミュニティ・スクールがうまく生かされるのか。またそこで統合するときに、「いや、うちはこうしてるから変えられない」と何か足かせになるのかどうなのかなと思っています。

【西本教育長】

教育総務部長。

【山元教育総務部長兼新しい学校推進室長】

あの地域が木風小学校、白南風小学校、潮見小学校、それと福石小学校も少し併せたような形で、かなり複雑な再編の提案をしています。地域のほうも今、一生懸命考えていらっしゃるようで、案をつくっている話も伺っております。もともとあそこは校区が、木風になったり、福石になったりとか複雑なところがありまして、ちょっと時間をかけながら調整は必要かなと思ってます。

ただ、地元の方も本当に熱心に考えていらっしゃるようですので、そこをうまく私たちが調整を図れるように、頑張っていけないといけないのかなと思っております。

そういう状況でございます。

【西本教育長】

地域というのをどういうふうに捉えるかということと、木風については合併とか統合も新たな要因としてあるので。佐世保の場合は地域と地区自治協議会が一つの固まりになっているので、今、松野委員さんがおっしゃったように、校区と自治協の区分が傘sなっているところはまとまりやすいと言えどもまとまりやすい。だから、そこにこだわると非常に木風小は難しくなって、もっと緩やかに、そこに通っている地域の人たちが、支援会議がありますから、そういったところの看板を替えるとか工夫はあるかと思いますが、佐世保の場合、非常にそういった問題が重なり合って難しいのはどこの地区も難しい。特に木風小の場合は統合の要因まで入ってきている、将来どうなるか分からないということなんです、そこら辺りの調整をうまくやって、せっかく意欲に燃えていらっしゃるわけですから、地域の方々の声もよく聞きながら、取りまとめていっていただきたいなという気がいたしております。

最終的にどうなるか分かりませんが、今こういった導入についてということで出てきております。そういったことを知っていただくということで。あと、経過報告も踏まえながら、委員の皆さんには動向について知っていただきたいと思いますのでよろしく、伝えておきます。

よろしゅうございますでしょうか。

萩原委員。

【萩原委員】

一つお尋ねします。小佐々のコミュニティがすごくよくできているというふうにお聞きするんですが、実際のところこの内容、出ているのを見ても今から考えていくということですので、現在その小佐々でどういうふうなところが一番子供たちにとってプラスになっているのかということが分かれば少し教えていただきたいなと思うんですが。と

てもうまくいっているという話はよく聞くんですが、どういうふう to 子供たちに影響があっているんでしょうか。

【西本教育長】

学校教育課長。

【高島学校教育部次長兼学校教育課長】

海光る町学園の評価というのを毎年されておまして、評価の高い項目についてお知らせいたします。

まず地域からですけども、この3校のコミュニティ・スクールとして、特色ある教育活動に共感し期待をしているという期待感が非常に高いことが一つ。二つ目が、小と中の交流活動や乗り入れ授業を通して、つながりが深まっているのを地域としても認めております。保護者様の評価で一番高いのは、先ほどと同じでございますが、コミュニティ・スクールで特色ある教育活動に共感し期待しているということと。教職員で一番評価が高いのが、地域の人たちと交流しながら学習や行事等の活動を行っている、地域とのつながりが深まっているという評価が一番高いと。

以上です。

【萩原委員】

地域とうまく連携して学校運営が行われているということなんだろうね。ありがとうございます。

【西本教育長】

小佐々は合併して、海光る学園なんですよ。学園歌は旧小佐々町歌です。

【萩原委員】

でも、そうやって地域の方がまとまって、そういうふう to いい教育ができれば、それはそれでいいのではないのでしょうか。

【西本教育長】

学校訪問に行きましたけど、例えば魚のさばき方で漁協から人が来てみたりとか、地域の踊りの先生が来て盆踊りの稽古をすとか、わらじ作りとかやってたので。中学校もそれでやってますから、一体感はあるなという感じです。

ほかにございませんでしょうか。よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

協議事項は終わりました。

次に報告事項です。

①です。令和４年成人式典についてということで、当日配付資料で説明をお願いいたします。

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

当日配付資料の②をお願いします。資料の１ページ目をお開きください。

成人式をハウステンボスで開催することについて、先月ご報告しておりましたけれども、文教厚生委員会協議会、それから関係者への説明を経まして、今回正式にハウステンボスで開催することを決定いたしました。資料にありますとおり、来週月曜日、２２日の市長の定例記者会見の折に正式に発表いたします。

内容につきましては、先々月も説明いたしましたが、１月９日日曜日の、開式時間は通常１２時なんです、今回着つけの関係と場所が遠くなりますので、２時にしております。

場所はＪＲＡゲルックホールになります。

当日は、ユーチューブの配信も準備しておりますが、式典の参加につきましては事前の申込みが必要となっております。事前の申込みを行われた新成人の方は、ハウステンボスに無料で入園が可能となっております。

当日のアトラクションにつきましては、現在ハウステンボス様と調整をしておりますが、今の予定では、ハウステンボス歌劇団「歌劇ザ・レビューハウステンボス」と「ハウステンボス天鼓」の太鼓の団体とコラボレーションした今回の成人式典用の特別プログラムをご準備いただけるということで聞いております。そのほか、フォトブースやメッセージ動画なども今、検討委員の中で検討をされております。

今回、対象者の皆様には、１２月１日時点で佐世保市に住民票のある方には１２月上旬に案内はがきをお送りしますが、住民票がない方につきましても、佐世保にいらっしゃった方で、市外、県外に行ってらっしゃる方も事前に申込みいただければ参加が可能となっております。

その後のいろんな交通機関等の情報につきましては随時、下にありますＳＮＳで発信いたしますので、随時ご確認くださいということで案内しようと思っております。

以上でございます。

【西本教育長】

ただいまの説明について委員の皆様から何かご質疑ございますでしょうか。

内海委員。

【内海教育長職務代理者】

対象者は大体どのくらいの数ですか。

【杉本社会教育課長】

数は、大体2,400名前後になっております。

【西本教育長】

萩原委員。

【萩原委員】

式典には私たちも出席ということになりますか。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

現在、当日の出席者、それから壇上に上がっていただく方については最終的に調整しておりますので、また改めてご案内させていただきます。

【内海教育長職務代理者】

無料ゾーンですね。

【杉本社会教育課長】

ただ、今回、入り口は正面から入っていただくように。裏からではなくて、通常のハウステンボスからの入園という形で、一つにしたいと思っております。

【内海教育長職務代理者】

その人たちは、そこからハウステンボスに無料で入れるということですね。

【杉本社会教育課長】

入れます。なので、入った方が、ゲルックホールにどのくらいいらっしゃるかがちょっと難しいですね。

【萩原委員】

それはそうですね。

【杉本社会教育課長】

ただ、コロナのこともありますし、ユーチューブでも配信しますので、園内の外でも見られるような形で、いろんなところで成人式典をと思っております。

【古賀委員】

保護者の人は入ってもいいんですか。

【内海教育長職務代理者】

会場には入れるんでしょうか。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

保護者につきましては、園内には入っていただいて構わないんですけれども、ゲルックホールは新成人中心で。ただ、介添えが必要な方につきましては、もちろん同席は可能です。

【内海教育長職務代理者】

残念ですね。

【西本教育長】

保護者はみんな無料ですか。

【杉本社会教育課長】

今、決まっているのは、新成人の皆様だけ無料です。ハウステンボス様のほうでまた別途サービスを検討されていると聞いております。

【西本教育長】

内海代理はい、どうぞ。

【内海教育長職務代理者】

警察関係との連携はいかがですか。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

今までは佐世保署の地域課の皆さんと調整していたんですけれども、今回は早岐署の地域課のほうと今、ご連絡さしあげて、ご協力をお願いしますということでお話をしております。ただ、園の中につきましては、ハウステンボスの管理圏になりますので、そ

の外側と、あとは、佐世保駅からＪＲで行くので駅に人が集まるんじゃないかということで、そこは佐世保署の地域課のほうにご協力をお願いするということで、今話をしております。

【古賀委員】

花火は上がりますか。ぜひ協賛を募ってもらって。

【杉本社会教育課長】

花火につきましては、ご意見があったことはハウステンボスには伝えています。

【内海教育長職務代理者】

ハウステンボスの旗があるんですけど、例の名前の入った旗がまた出てくるんでしょうね。

【西本教育長】

持ち込んでいいんでしょうかね。

【古賀委員】

手作りのですか。子供たちが。

【内海教育長職務代理者】

刺しゅうで、自分の名前が入っているのを仲間が作ってあげるんでしょうね。

【西本教育長】

社会教育課長。

【杉本社会教育課長】

今、内海委員がおっしゃったように大きなのぼりとかいろいろ持ってこられているんですけど、今ハウステンボスの方と話をしているのは、持ち物も一応大きな物は持ってこれないとか決まりがあるらしいので、多分そこは入り口でお預かりするのかなという話かと。そこはハウステンボス様と調整しております。

【内海教育長職務代理者】

そうですね。いい企画ですね、佐世保だからできる企画。

【萩原委員】

いつもディズニーランドが羨ましいと子供たちが言ってたから、今度はいいですね。

【西本教育長】

持込み企画だったんですよ、ハウステンボス開園３０周年の。だから、うちの予算が、佐世保弁で言えば「がと」でしてくださいという、予算の範囲内ですが、これ、恒常的にするとなるとまたちょっと懐が要るかなと。

【萩原委員】

かなり要るでしょうね。

【西本教育長】

ただ、ハウステンボスとしても、たくさん人が来て、寒いときの人寄せにはなるかもしれないと思います。

【萩原委員】

毎年お願いしますと言っておかないといけませんね。

【西本教育長】

インスタ映えもするので、園内に入って飲食したりすれば。

【萩原委員】

話題になるだろうなと思ってですね。

【西本教育長】

まあ、そこら辺りは再来年からも検討課題と。

【内海教育長職務代理者】

頑張ってください。

【杉本社会教育課長】

はい、頑張ります。

【西本教育長】

次です。②小柳賞佐世保シティオンラインロードレース２０２２について、説明お願いいたします。

スポーツ振興課長。

【嶋田スポーツ振興課長】

資料が、１ページ、２ページに報告事項、実施要項の案を載せておりますが、今日お手元にＡ４横のリーフレットの案をお配りしております。そちらのほうで説明させていただきます。これは最終案の段階で、若干言葉の変更があるかもしれません。先月、この定

例教育委員会の中で、成人式絡みでご質問いただいたときに、オンラインでということはお伝えしておったんですが、正式に形ができてきましたので、その分でお伝えしたいと思っております。

小柳賞佐世保シティオンラインロードレース2022大会とはということで、一番左上ですけど、スマートフォン等に専用の「T A T T A」というアプリをインストールしてもらって、大会期間中に、いつでも、どこでも、どのコースでも好きなタイミングで走っていただけるというものです。今回のイベントは、設定した目標距離を目指すものであり、タイムを競うものではありませんということをやりたいと思っています。

やはり第6波の心配もありましたので、道路に、一堂に会してというところを今回懸念をいたしまして、2年連続の中止は避けたかったので、こういったオンラインという形でやるものです。

中身ですけど、この開催期間は1月9日から22日、一応2週間設けております。この2週間の間に、その下に種目とありますが、チャレンジマラソンが10キロ、ハーフマラソン21キロ、フルマラソンと、九十九島マラソンが99キロということで、この四つのどれかにエントリーしてもらって、この距離をこの2週間の間に走ってもらうと。だから、毎日ちょっとずつでもいいですし、週末に一気にでもいいんですけど、その目標の距離を走っていただくということで、今回のオンラインロードレース大会というのをやろうと思っています。

エントリーは、12月の一月間というふうに考えております。

あとは、こういった形かとか、インストールの方法だとかというのを載せております。

もうすぐ出来上がりますので、関係機関に配布をして、ランナーを募ろうかと思っています。

以上でございます。

【西本教育長】

Tシャツを配るんですね。

【嶋田スポーツ振興課長】

参加賞に今回Tシャツを用意しております。それと、この種別ごとに40人ぐらいですけど特別賞ということでまた別途設けて、市の特産物等をお配りしたいと思っております。

【西本教育長】

小柳賞佐世保シティオンラインロードレースの関係につきまして、委員の皆様からご質疑等ございますでしょうか。

内海委員。

【内海教育長職務代理者】

これは全部インターネット上でやるということですね、エントリーから。ただ、オリジナルTシャツというのは郵送で。

【西本教育長】

スポーツ振興課長。

【嶋田スポーツ振興課長】

この右側のほうに流れを書いておるんですが、中ほどです。申込みから大会参加までの流れということで、一応12月1日から受付を始めまして、これはもうインターネット上で受付をしたいと思っております。実際、大会が9日から22日間、走っていただいた後に、24日と書いていますが、これが1月下旬になってくると思うんですが、それ以降に、完走証を送ったりとか、特別賞、参加賞をこの時点で発送したいと思います。

【内海教育長職務代理者】

Tシャツ代とその送料と実費抜かすと、この3,000円というのはランナーにとっては安いという感じがします。

【嶋田スポーツ振興課長】

近隣の同じようなところもエントリー手数料を含まずに3,000円だったりとか、大体3,000円前後で、同じようなところでどの大会もされております。

【古賀委員】

この「T A T T A」のアプリが分からないんですけど。車椅子とか車でも計測されるんですか。走ったときだけですか。

【嶋田スポーツ振興課長】

その点、いろいろ見ているんですけど、去年自転車に乗って見たら駄目だったんですよ。一定のこの距離をこの時間でというのは無理だろうというところはやっぱりはじかれるみたいです。

【内海教育長職務代理者】

駄目なんですよ。

【西本教育長】

振動が違うんですか。

【古賀委員】

車椅子で参加はできないのでしょうか。

【西本教育長】

アプリの仕組みは、万歩計のようにとんとんとんと動かないと、アプリは反応しない。例えばバスに乗っていても全然歩数は増えない。車椅子だと歩数は測れないですね。

【内海教育長職務代理者】

振動ですよ、あれね。

【古賀委員】

G P Sでわかるのは進んだ距離ですよ。でも、振動なんですよ。

【嶋田スポーツ振興課長】

これを常にお持ちしないとイケない。スマートフォンかスマートウォッチ等を持って走る。

【内海教育長職務代理者】

どちらですよ。

【嶋田スポーツ振興課長】

はい。

【西本教育長】

よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

それでは次です。G o o g l e f o r E d u c a t i o nパートナー自治体への参画ということについて説明お願いいたします。

スマートスクールS A S E B O推進室長。

【陣内スマートスクールS A S E B O推進室長】

報告事項の3ページからグーグルのほうの資料は載せておりますが、専門用語なんかも多くて、なかなか分かりにくい資料になっておりますので、しゃべらせてください。

まず、G o o g l e f o r E d u c a t i o nパートナー自治体ですが、今、教

育長の横にプレートがありますが、このプレートを送っていただきまして、全国で今14自治体しか選ばれておりません。その自治体に入りました。この自治体に入るということは、こちらから希望するものではありません。グーグルのほうが各自治体の状況を把握して、その上で入っていただけませんかという招待がございまして、承諾したら入る、協力するということです。

ちょっとすいません、最初にハードルを上げてしまいました。

ざっくり申しますと、グーグルのクロムブックを昨年の1年間で全国の自治体の大変多くが導入をいたしました。次の段階として、これをどう使うかというステージに入ります。そのどう使うかについて、グーグルと一緒に新しい展開をしていくパイロットであり、また、私たちの要望も聞いていただけるといったような。ざっくり言うと、一緒にこれを充実する使い方に変えていきたいと思いますというパートナーということでございます。

このプログラムに参画することによって、まず、グーグルのほうからは、教職員のトレーニングプログラムに関して、包括的、中長期的なサポートが提供されます。早速うちのほうもさせていただいているんですが、キックスタートプログラムという研修を、グーグルのほうから指導者に来ていただきまして、既に13回実施、延べ420名の教職員に。全部で教職員1,500名ぐらいですので、もう4分の1ぐらいの教職員にはグーグルのほうから直接の研修が実施できたというような状況でございます。

また、教職員の育成のほかにも、特にインターネットリテラシーの教育について課題に感じられておりまして、ここについてもタイアップして進めていこうとしております。ネチケット教育ですね。インターネット上でどうやって道徳性を高めていくかという部分ですが、これについても今、グーグルほうで教材を作成いたしておりますので、この教材の提供を受けて、佐世保市内の学校でも活用をし、また、そのノウハウをグーグルのほうにお返ししていく、また改善すればもっとよくなりますよといったような教育を進めていきたいと思っております。

それから、Mind the Gap キャリアセッションの提供、これはコンピューターサイエンスを学んで将来に生かす部分ですね。子供たちが将来コンピューターをどう活用していくか、また、自分の就職活動、キャリアアップなんかはどう活用していくかというようなところです。

これについては、グーグルも大変面白い視点を持っておりまして、グーグルの女性エンジニアを育成したい、女子学生の方にぜひ今後グーグルに参加していただきたいという思いをお持ちのようで、「リケジョ」という言葉が昔ありましたけど、そういったところにも力を入れているようでございます。

こういった目的の中で、グーグルの担当とうちの担当と定期的にずっと情報共有をさせていただいて、プログラムの提供の在り方とか改善とかそういったものをずっと一緒に高めていくというものです。

これに招待されましたので、今後、全国的なイベント等の情報提供、どこどこの市町でこんな活動がされていますよといった情報もリアルタイムに入ってくるようになります。

すし、佐世保市の活動についても全国の自治体に発信していくという形でございます。

なお、このプログラムに今私たち招待されて入ったんですが、この後、G o o g l e f o r E d u c a t i o n事例校という制度がございます。これは市町村単位ではなくて学校単位で、特にすばらしい学校ということで指定をされるものですが、恐らく近いうちに、うちのパイロット校になっております中里小、中里中は招待が来るんじゃないかなと思います。現在の状況でも大変高く評価をされている状況でございます。ますます今後発展できるんじゃないかなと思ってます。

本当に大きなお金を使って整備していただいて、堪能な先生とそうでない先生の差がどうしてもあるんですけど、全体的にできる人がどんどんやっていくことで、それについていってもらう部分もありますので、市全体的なレベルアップのためにこれを活用していきたいと思っていますところです。

ご報告でございました。

【内海教育長職務代理者】

選ばれたというのはいいですね。

【萩原委員】

すばらしいですね。

【内海教育長職務代理者】

ほかの自治体もこんなことをしているところがあるんでしょうか。

【西本教育長】

全国でどのくらいありましたか。

【陣内スマートスクールSASEBO推進室長】

14です。

【松野委員】

どんなところがあるんですか。

【西本教育長】

推進室長。

【陣内スマートスクールSASEBO推進室長】

九州は、割と力を入れていらっしゃる久留米、熊本なども当然順当に入ってます。全国では、川崎市とか久喜市とか、よく見てらっしゃるなと思います。大きなところばかりではなくて、本当に力を入れてらっしゃるところを、大きいところも小さいところも

招待されているみたいです。

【内海教育長職務代理者】

調査というのはどんな調査をしたか知りたいですね。ビジネス上、経営上、いろんなシステムを私どもヒューマングループは使ってきたんですけど、今行きついているのがグーグルなんですよ。まずお金がかからないというのと共有できるというので全社的に、今までノーツというプログラムを使っていたんですけど、そこから脱脚して、今後グーグル中心で。そうするとコストもどんと安くなって、パフォーマンスというか、とにかくすごいんですよ、グーグルさんは。

それをこのエデュケーションでやっているというのは、ビジネス界からすると画期的なことをやっているの、教育界でも画期的なことをやってくれるだろうなと思います。ぜひこの連携というのを。すごくラッキーカードを引いたようなもんじゃないかなと。私は委員を卒業した後、外から見ますけれども、皆さん頑張っていたいただきたいなと思っています。ぜひ来年グッジョブと言えるようにやっていただきたいと。いいですね。

【西本教育長】

ほかにございますでしょうか。よろしいですか。

【全委員】

ありません。

【西本教育長】

ぜひ応援よろしくお願いいたします。

次です。最後になりますが、令和3年度佐世保市教育センター第3回教育フォーラムの開催についてということで、説明をお願いします。

教育センター所長。

【高橋教育センター長】

資料5ページになります。

令和3年度の第3回教育フォーラムということで、開催についてご紹介いたします。

目的は、記載しておりますとおり、端的に申しますと我々が委嘱している先生方の研修の発表、報告会となっております。

日時は、令和4年1月28日金曜日となっております。

場所は、当館で行わせていただきます。

現在100名程度の参加者を想定しておりますが、感染症対策等も考えながら、若干内容を変更してというところも今後考えてまいりたいと思っています。また、ライブ配信も同時に行ってまいりたいと思っています。

大きな柱は、4番の内容の(2)にございます、2年間継続して行ってまいりました

小・中学校理科、小学校３名、中学校３名の教職員による研究の発表になります。

そのほかにつきましては、経過報告というような形で５分程度の報告会を行います。

後半に、記念講演といたしまして、東洋大学の後藤顕一先生をお招きいたしまして、評価を視点に講演をいただくというような形になっております。

よろしければお時間の許す限りという形になりますが、ご案内を差し上げてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上、報告でございます。

【西本教育長】

教育フォーラムのご案内でした。

委員のほうから何かご質疑等ございますでしょうか。よろしゅうございますか。

【全委員】

ありません。

その後、次回開催予定日を確認し、終了となった。

----- 了 -----